

## アバスチン・LV・5-FU 療法を受けられる患者さまへ

(アバスチン・レボホリナート・5-FU)

この治療で使用する内服薬・注射薬についての説明書です。わからないことや困っていることがありましたなら、いつでもご相談ください。また、何か異常を感じた場合は、すぐにご連絡ください。

### 《お薬の作用》

薬剤名	経路	主な作用
アバスチン	注射	がん組織へ栄養や酸素を補給する血管が作られないようにして、がんの成長を妨げます。また、がん組織にできた血管を整備することで、一緒に投与される抗がん剤ががん組織に届きやすくなり、その効き目を増強します。
5-FU	注射	抗がん剤です。がん細胞の増殖に必要な酵素と結合してその働きを抑えることで、がん細胞の増殖を抑えます。
レボホリナート	注射	5-FUの作用を強めるために使用します
デカドロン	注射	アレルギー症状や吐き気を抑えます。
アロキシ	注射	吐き気を抑えます。

《投与スケジュール》 2週間毎に繰り返します。

30分	デカドロン・アロキシ点滴静注 (生理食塩液 100ml で溶解)	
	生理食塩液 50ml 点滴静注	
90～30分	アバスチン点滴静注 (生理食塩液 100ml で溶解)	
	生理食塩液 50ml 点滴静注	
2時間	レボホリナート点滴静注 (生理食塩液 250ml で溶解)	
3分	5-FU 静注	
約 46 時間	5-FU 持続注入 (携帯型ポンプにて) (生理食塩液で溶解)	